

◎特集 1 / 特別支援学校におけるセンター的機能について

◎特集 2 / ベルギー王立美術館コレクション

ベルギー近代絵画のあゆみ ～バルビゾン派、印象派、フォーヴ～

- ハンス・フィッシャーの世界『こねこのぴっち』の作家がわが子に贈った絵本たち
- 山梨県スポーツ振興実施計画について
- 平成 22 年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について
- おもちゃと模型のワンダーランド展
- 「地域産業の担い手育成プロジェクト」研究指定校の成果
- 『ザ・読解力 (中学校版)』で子どもたちと楽しく考える授業を！  
—社会生活にいきる読解力向上推進事業
- ミュージアム甲斐・ネットワーク / 県立博物館
- 先生のための文化財活用支援講座と各種事業の紹介
- らくがき …… 身延町立身延小学校 佐野千春教諭  
 韮崎市立韮崎西中学校 小野美知子教諭
- 県立文学館 開館 20 周年記念 夏の特設展— H.C. アンデルセン「人魚のお姫さま」
- 学校紹介 / 昭和町立押原小学校・富士河口湖高等学校
- 総合教育センター情報 / 特別支援教育の充実を目指して
- 新教育委員就任挨拶
- 県立図書館 / 「レファレンスの道具箱 落語について調べる」
- 山梨の文化財 / 県指定史跡 寺本廃寺跡 (笛吹市春日居町寺本)
- 主な行事予定



特集1

特別支援学校におけるセンター的機能について

新しい学校づくり推進室

平成十九年の学校教育法の改正において、第七十四条に

「特別支援学校においては、第七十二条に規定する目的を実現するための教育を行うほか、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の要請に応じて、第八十一条第一項に規定する幼児、児童又は生徒の教育に關し必要な助言又は援助を行うよう努めるものとする。」

と規定され、特別支援学校は、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすことが、明確に位置付けられました。

一 山梨県の特別支援学校

山梨県内には、分校を含め、十二校の特別支援学校が設置されています。これらの学校では、その専門性を活かしながら、障害に応じた教育を行っています。一人ひとりの実態を的確に把握し、個に応じた指導目標、内容を設定し、指導方法を工夫しながら実践を積み重ねています。

また、よりよい支援を行うために、児童生徒が関わる医療、保健・福祉、労働等の関係機関との連携を図り、同時に障害のある児童生徒や乳幼児を対象として、その保護者や関係機関からの相談に応じています。

二 センターの機能とは

センター的機能とは、特別支援学校が、これまで蓄積した教育上の経験やノウハウを活かして、

地域の保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校等に教育的支援を行い、地域における特別支援教育に關する中核的機能としての役割を担うものである。

山梨県では、平成二十年度から「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」を推進しています。県内を五地区（北部・中部・南部・東部・富士北麓）に分け、地区特別支援連携協議会を設置し、それぞれの地区に設置されている特別支援学校を中心に、保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校、医療、保健・福祉、労働等の関係機関と連携しながら、障害のある幼児児童生徒の多様なニーズに対応できる体制づくりを行っています。そして、センター的機能をより有効かつ機能的に活用できる支援体制を整備しています。

三 センターの機能の内容

センター的機能の内容は、次のとおりです。

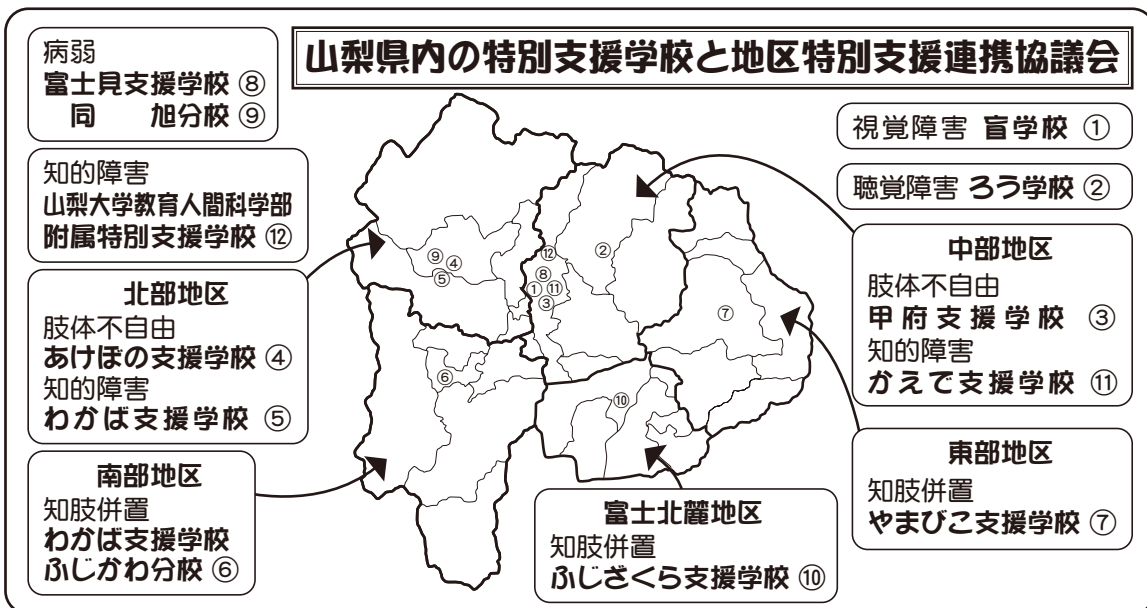
① 小・中学校等の教員への支援

個々の幼児児童生徒の指導に關する助言・相談のほか、個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成に当たっての支援等を行います。

② 特別支援教育等に関する相談・情報提供

地域の小・中学校等に在籍する幼児児童生徒の保護者からの相談に応じたり、就学や支援に關する情報等の提供を行っています。

山梨県内の特別支援学校と地区特別支援連携協議会



## かえで支援学校のセンター的機能

### 教育相談

- ◇発達（学び、ことば、身体、感覚など）について、気になることがある。
- ◇学習や生活上の課題を、どのようにして解決したらよいか悩んでいる。
- ◇どのように医療や福祉などを利用したらよいか知りたい
- ◇支援の方法や指示の出し方など、より適切な関わり方について知りたい。
- …などの相談に応じています。

### プレスクール（授業体験）

- ◇就学や進学・転学を前に、支援学校での教育の様子を知りたい。
- ◇実際に支援学校の授業に参加してみたら、今後の就学先などについて考えたい。
- …などから授業体験を実施しています。

### オープンスクール

- ◇7月に学校見学会を開催し、学校の施設設備・通常授業を公開しています。また、8月には、主に年長・小6・中3を対象に、授業体験会を開催しています。

### 合同学習会・公開研修会

- ◇年間数回の「かえで合同学習」を行っています。地域の教員等の教育関係者と本校の関係者がテーマに沿って研修や情報交換します。
- ◇外部講師を招いての研究部主催「夏休み公開研修会」をはじめ、学習会や研修会等を、地域の先生方にも公開しています。

### 相談・支援通信の発行

- ◇相談・支援通信「フレンズ」を発行しています。幼稚園・保育所、小・中学校、高等学校、地区の教育関係機関等に配付しています。

### ③障害のある幼児児童生徒への指導支援

盲・ろう学校では、乳幼児の教育相談をおし、教育的支援を行っています。また、小・中学校に在籍する障害児童生徒を対象に「サテライト教室」や「通級による指導」を実施しています。

### ④福祉、保健・医療、労働等の関係機関との連絡調整

広域特別支援教育連携協議会及び地区特別支援教育連携協議会が中心となって運営し、関係機関との連絡調整を行っています。また、個別の教育支援計画の作成に当たり、医療、保健・福祉、労働等関係機関との具体的な連携について連絡調整を行います。

なお広域特別支援連携協議会専門部会（視覚障害・聴覚障害・病弱）は、県全域を対象として支援を行っています。

### ⑤小・中学校等の教員に対する研修協力

障害のある幼児児童生徒の理解や指導の方法等について、研修会を開催したり、小・中学校の支援会議に参画・協力をを行います。

### ⑥障害のある幼児児童生徒への施設設備等の提供

特別支援学校には、障害の特性や実態に合わせた自作教材が数多く作られています。それら教材教具の貸し出しや参考資料等の紹介を行っています。

## 四 センターの機能の実際

特別支援学校は「相談支援センター」、「地域支援部」等の名称で、校内分掌にセンター的機能を明確に位置付け、その活動を充実させるために、特別支援教育コーディネーターを配置しています。

具体的な活動として「かえで支援学校」の例をご覧ください。

## 五 センターの機能のこれからの課題

### — 高等学校との連携 —

高等学校においても、特別な教育的支援を必要としている生徒が在籍しています。平成十九年度から、公立高等学校に特別支援教育コーディネーターを配置し、適切な支援が受けられるよう、校内委員会を中心に取り組みを行っています。

今年度は、高等学校コーディネーター研究協議会に特別支援学校コーディネーターが参加し、互いに連携を深めます。特別支援学校で培われた指導のノウハウが、高等学校の教育の中で生かされることが期待されます。

## 六 最後に

特別支援学校が関わったからといって、障害のある幼児児童生徒の課題全てが解決するわけではありません。それぞれの学校において、指導についての共通理解を深め、十分な検討が行われなくてはなりません。特別支援学校は、障害のある幼児児童生徒の教育に、一生懸命取り組んでいる学校や保護者の皆さんを応援していきます。



## 特集2

## ベルギー王立美術館コレクション

## ベルギー近代絵画のあゆみ ～バルビゾン派、印象派、フォーヴ～ | 県立美術館 |

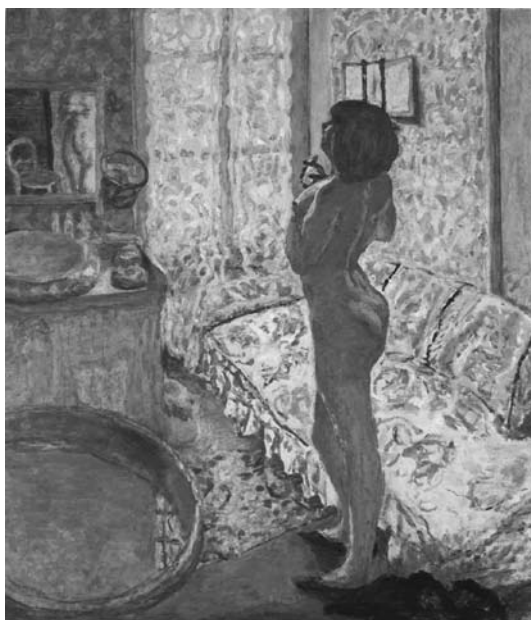
県立美術館では、七月五日まで特別展「ベルギー近代絵画のあゆみ」を開催しています。本展では、十九世紀のバルビゾン派から印象派、さらにはそれを科学的に発展させた新印象派、純色を大胆に使いそのコントラストで強い印象を与えた二十世紀のフォーヴに至るまで、フランスの芸術運動の影響を受けながら、ベルギーの近代絵画が発展していった様子を紹介します。

日本からベルギーへは、乗り継ぎを含めると飛行機で十三時間ほどで行くことができます。チョコレートやワッフルなどで有名ですが、一八三〇年にネーデルランド連合王国（現在のオランダ）から独立しました。現在、首都ブリュッセルには欧州連合（EU）の本部が置かれているため、欧州の政治の一大拠点となっています。ベルギー王立美術館は、そのブリュッセルにあり一八〇三年にオープンして以来、二百年以上の歴史を誇っています。

フランスとオランダ、ドイツというヨーロッパの大国にはさまれたベルギーの美術は、その重要性にもかかわらず、これまでわが国ではあまり脚光を浴びてきたとは言えませんが、県立美術館の所蔵しているバルビゾン派の絵画とも、深い関係を持っているのです。

一八三〇年から一八七〇年にかけて、フランスではバルビゾン派の画家たちが農村風景や風景画を手がけていました。彼らは、パリ近郊にあるフォンテーヌブローの森のそばにある小村バルビゾンに滞在、あるいは居住したことから、のちに「バルビゾン派」と呼ばれるようになりました。この頃、多くのベルギー人画家もバルビゾンを訪れています。ベルギーの画家たちは、バルビゾンで得た経験を母国に持ち帰り、ブリュッセル近郊のソワーニユの森のほずれにある小村テルヴェーレンに集まり、風景画の制作に没頭しました。

本展を通じて、十九世紀のフランスで活動したバルビゾン派の画家たちの作品が、どのようにしてベルギーの画家たちに受け入れられたのか、またその後フランス内外の画家たちに影響を与えたのかを知ることができます。また、当館所蔵のバルビゾン派の画家たちの作品についての理解を深める好機となるでしょう。なお、ベルギー王立美術館を代表する作品のひとつ、ポナールの《逆光の中の裸婦》は日本初公開となります。



ピエール・ボナール《逆光の中の裸婦》一九〇八年頃  
油彩・麻布 ベルギー王立美術館所蔵

**会 期** 二〇〇九年四月一八日（土）～七月五日（日）  
**開館時間** 午前九時～午後五時（入館は午後四時三十分まで）  
**休館日** 四月二〇、二七日、五月七、一一、一八、二五日、  
六月一、八、一五、二二、二九日  
**観覧料** 一般一〇〇〇（八四〇）円  
大・高生五〇〇（四二〇）円、  
中・小生二六〇（二二〇）円

（ ）内は二〇名以上の団体料金、県内宿泊者  
割引料金

小・中・高等・特別支援学校生は土曜日無料

県内六五歳以上の方（健康保険証等持参）は無料

障害者手帳をご持参の場合、ご本人と介護の方一名が無料

# ハンス・フィッシャーの世界

## 『こねこのぴっち』の作家がわが子に贈った絵本たち

— 県立美術館 —

ハンス・フィッシャーは、『こねこのぴっち』、『ブレーメンのおんがくたい』、『長ぐつをはいたねこ』などの絵本で、世界中の子どもたちに愛されているスイスの絵本作家です。日本でもこれらの絵本が出版されてから五十年以上が経ちますが、今なお多くの子どもたちにとても人気があります。子どもに限らず大人にもたくさんの方がいるということで、フィッシャーは、世代を超えて愛され続けている絵本作家の一人と言えるでしょう。生誕百年を記念して開催される本展では、絵本原画を始めとして、フィッシャーがわが子に贈った手描きの絵本や、色鉛筆画、版画作品など、およそ二二〇点を紹介します。

夏休みのひとときを子どもも大人も一緒になつて楽しめるように、本展にはさまざまな工夫を凝らしています。まず、会場内のキッズ・コーナーでは、たくさんのお絵本を自由に読むことができます。また、キッズ・プログラムとして「あつまれ！びじゅつ探検隊」や、「親と子のアート・レクチャー」などのワーク・シヨップ、大人向けには「大人のための美術講座&ギャラリー・トーク」を開催します。さらに、レストランでは、絵本の主人公たちが食べるスイーツを再現した特別メニューを展開します。展覧会を見た後の余韻をおいしいお茶とお菓子でお楽しみください。

- ◇会 期 二〇〇九年七月一九日(日)～八月二三日(日)
- ◇開館時間 午前九時～午後五時(入館は午後四時三〇分まで)
- ◇休館日 七月二一日、二七日、八月三日、一七日
- ◇観覧料 一般一〇〇〇(八四〇)円

大・高生五〇〇(四二〇)円  
中・小生二六〇(二一〇)円

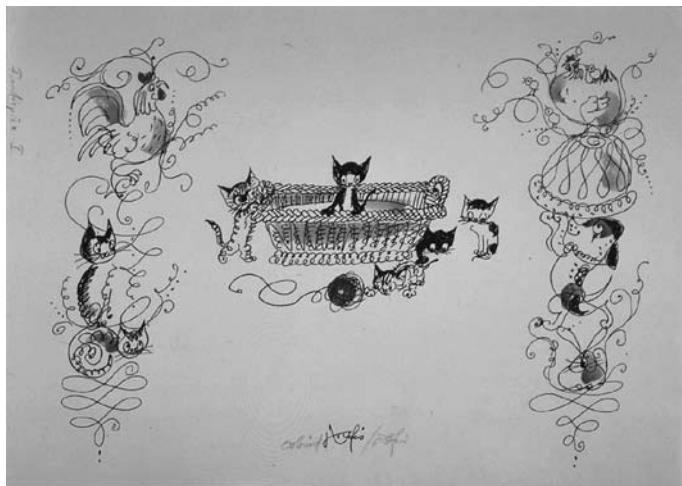
\* ( ) は二〇名以上の団体料金、前売料金、山梨県内宿泊者割引料金。  
\* 次の方は観覧料が無料となります。

- ・ 障害者手帳持参の方(ご本人)と介護の方一名
- ・ 小・中・高等・特別支援学校生(土曜日のみ)
- ・ 山梨県内の六五歳以上の方(健康保険証等持参)
- ・ 山梨県内の小・中学生(フリー・パスポート持参)

◇前売券取扱所 山梨県立美術館、山日YBS本社受付、山日YBS富士吉田総支社、ローソン「Toppi」

\* 前売券販売は六月一九日～七月一八日。

◇主催 山梨県立美術館 山梨日日新聞社・山梨放送  
ハンス・フィッシャーの世界実行委員会



○「絵本とおはなしの会」  
七月三十一日、八月一日 午後一時三〇分～二時

○『こねこのぴっち』映画会  
七月二十九日、三〇日、八月二二日 午後一時三〇分～二時

○あつまれ！びじゅつ探検隊  
対象 小学四～六年生  
日時 七月二五日 午前一〇時～一時三〇分  
申込 七月八日～一五日

○親と子のアートレクチャー  
対象 小学一～三年生と親  
日時 七月二五日 午後二時～三時三〇分  
申込 七月八日～一五日

○大人のための美術講座&ギャラリー・トーク

日時 八月一〇日 午後一時～二時  
講師：武井利喜氏(小さな絵本美術館館長)

\* 写真は『こねこのぴっち』扉(一九四八年)小さな絵本美術館蔵

# 山梨県スポーツ振興実施計画について

## — スポーツ健康課 —

### □ 計画策定の趣旨

本県では、スポーツ振興を図るため、主要事業や施策プログラムを示した「山梨県スポーツ振興実施計画」を策定しました。

この計画は、「やまなしの教育振興プラン」のスポーツ部門として位置付けているスポーツ振興計画を体系的に捉えて、具体的にわかりやすくしたものです。

### □ 山梨のスポーツ振興の基本理念

「健康で明るい生活を支える  
豊かなスポーツライフの実現」

### □ 具体的内容

#### 1 健やかな体の育成

健康で豊かな生活を送るために、生きる力の要素である健やかな体の育成をめざします。

- ①学校体育・スポーツの充実
  - 体育指導の充実
  - 学校体育大会への支援
  - 運動部活動の充実
- ②健康・安全教育の推進
  - 望ましい生活習慣の確立
  - 安全教育の推進
- ③食育の推進
  - 食に関する指導の充実

#### \* 目標となる指標例

指標	指標の概要	H19年度の現況値	H25年度の目標値
運動・スポーツの実施状況	・「山梨県新体カテスト・健康実態調査」で授業以外で週3日以上運動スポーツを実施している小学生（5・6年生）の割合	小 48.2%	小 65%
体力・運動能力の状況	・「山梨県新体カテスト・健康実態調査」で小学生（5年生）のボール投げの平均値のピーク時（昭和56年）の値に対する割合	小 81.7%	小 90%

指標	指標の概要	H20年度の現況値	H25年度の目標値
朝食の摂取状況	・「山梨県新体カテスト・健康実態調査」児童生徒が朝食を摂取している割合	小 91.1% 中 84.3% 高 79.4%	小 95% 中 90% 高 90%
食育の推進状況	・食に関する指導全体計画・年間指導計画を作成している学校の割合（H19年度の調査による各校の計画作成予定年度から）	小 64.2% 中 53.8% 高 10.2%	100%

#### 2 生涯スポーツの振興

県民が健康で豊かに生きるために、だれもがスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の

実現を図ります。

- ①参加機会の充実
  - 総合型地域スポーツクラブの設立・育成
  - 広域スポーツセンターの充実
  - 参加機会の充実
- ②指導・推進体制の充実
  - 指導者等の養成・確保・活用
- ③スポーツ環境の充実
  - スポーツ施設の利用拡大・充実
  - スポーツ情報提供システムの充実

#### \* 目標となる指標例

指標	指標の概要	H19年度の現況値	H25年度の目標値
総合型地域スポーツクラブの設置状況	・いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブを設置している県内市町村の割合	53.6%	100%

指標	指標の概要	H19年度の現況値	H25年度の目標値
スポーツへの取組状況	・週1回以上スポーツを実施している成人の割合	32.4%	50%

#### 3 競技スポーツの振興

本県選手の活躍やスポーツの観戦機会の充実により、スポーツへの関心を高め、競技人口の底辺拡大を図ります。

- ①競技力の向上
  - 優秀選手の育成・強化
  - スポーツ医・科学の活用
  - スポーツ交流の推進
  - 優秀選手等の表彰
- ②指導体制の充実
  - 競技力向上を図る指導者の養成
  - 一貫指導体制の推進
  - セカンドキャリア支援の検討

#### \* 目標となる指標例

指標	指標の概要	H19年度の現況値	H25年度の目標値
競技レベルの状況	・国民体育大会における個人、団体の上位8位以内の入賞数	92人団体	100人団体
アンチ・ドーピングへの取組状況	・選手、指導者がアンチ・ドーピングへの意義啓発のための講演会に参加している県内競技団体の割合	55%	100%
一貫指導体制の推進状況	・トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	55%	100%

※ 詳しくは、スポーツ健康課ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/sports/84416687982.html>

# 平成22年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項について

— 新しい学校づくり推進室 —

山梨県教育委員会は、去る5月12日に平成22年度の入学者選抜に関する基本事項を公表しました。

入学者選抜制度の主な特徴は、次のとおりです。

1 住所に関係なく、どの学校にも志願できます。

2 「前期募集」と「後期募集」の2度の受検機会があります。

3 「前期募集」では、自分の興味・関心、特性を生かした受検ができます。

4 「後期募集」では、志願先高校に普通科、専門教育学科又は総合学科が設置されている場合、志願する学科のほかに第2希望まで志望順位を付けることができます。

平成22年度入学者選抜の概要は、次のとおりです。

## 1. 全日制前期募集

### ① 検査方法

面接のほか、各高校が定める作文、特技、個性表現のいずれかを併せて実施します。

### ② 出願期間

平成22年1月13日（水）から1月15日（金）

### ③ 検査期日

平成22年1月26日（火）、27日（水）

### ④ 入学許可予定者の内定日

平成22年2月3日（水）

## 2. 全日制後期募集

### ① 学力検査

国語、社会、数学、理科及び英語（リスニング含む）を実施します。

### ② 出願期間

平成22年2月17日（水）から2月19日（金）

### ③ 検査期日

平成22年3月4日（木）

### ④ 入学許可予定者の発表

平成22年3月11日（木）

## 3. 全日制再募集

### ① 検査方法

面接のほか、作文又は新たに行う学力検査を実施します。

### ② 出願期間

平成22年3月11日（木）、3月12日（金）、3月15日（月）

### ③ 検査期日

平成22年3月16日（火）

### ④ 入学許可予定者の発表

平成22年3月18日（木）

## 4. 定時制課程入学者選抜

### ① 検査方法

学力検査及び面接を実施します。

### ② 出願期間

平成22年2月17日（水）から2月19日（金）

### ③ 検査期日

平成22年3月4日（木）、5日（金）

### ④ 入学許可予定者の発表

平成22年3月11日（木）

## 5. 定時制課程再募集

### ① 検査方法

再募集に当たつての学力検査及び面接を実施します。

### ② 出願期間

平成22年3月15日（月）から3月19日（金）

### ③ 検査期日

平成22年3月23日（火）

### ④ 入学許可予定者の発表

平成22年3月25日（木）

## 6. その他

① 詳細については、別に定める「平成22年度山梨県公立高等学校等入学選抜実施要項」によります。（10月下旬公表予定）

② 平成22年度入試の募集定員は、中学校卒業予定者の進路希望調査などを考慮し、11月上旬に決定する予定です。



# おもちゃと模型のワンダーランド展について

— 県立博物館 —

山梨県立博物館では、夏休み期間中に企画展「おもちゃと模型のワンダーランド展」を開催いたします。十九世紀のアンティークトイから昭和のおもちゃまで、必ず「懐かしい」おもちゃに出会える展覧会ですので、ぜひ親子でご家族でご来場ください。

## □ ロンドンからの贈り物

～ 鉄道模型からドールハウスまで ～

展示の最初を飾るのは、ロンドンおもちゃ・模型博物館旧蔵の数十両の鉄道模型です。鉄道模型は、鉄道が遠くへの快適な旅を提供するようになり、その旅への憧れや新しい時代をいながらにして体験できるように作られていきました。そうした初期の模型から、鉄道自体の発達や模型製作技術の向上にいたる様子を、一番やHOGゲージの大きな車両の展示によりご紹介いたします。

続いては、様々なドールやテイベア、精巧な金属玩具をご紹介します。人形はおもちゃのなかで最も原初的ともいえるものですが、現在のような精巧さを持つようになったのは、十九世紀以後からでした。また、金属玩具のなかには、実物と同様のテクノロジーと燃料によって実動するものもあります。こうした技術の進歩がおもちゃの発達を促すとともに、同時におもちゃがその時代の発展を示していることをご紹介します。

## □ 青い目の人形と日米人形交流

続いては、昭和二年（一九二七）に米国より寄

贈られ、本県に五点現存する青い目の人形をご紹介します。青い目の人形に象徴される日米人形交流事業は、米国のギューリック博士、我が国の渋沢栄一らを中心に行われ、日本に一万二千体の人形が渡り、山梨県には百体ほどがやってきました。しかし戦災などを経て、現存するのは五体となっており、日本国内にも三百余しか現存していない大変貴重なものとなっております。今回は、県内のご所蔵者のご好意でこれら青い目の人形たちを展示させていただきます。ぜひ多くの皆様に、八十二年前に行われた日米友好の証をご覧いただきたいと思っております。

## □ 戦後のおもちゃの歩み

～ 日本玩具コレクションを中心に ～

最後のコーナーは、戦後の復興期から現代にかけてのおもちゃをご紹介します。社会現象が作り出したおもちゃ、また、おもちゃによつて作り出された社会現象、テレビ時代のおもちゃなど、私たちが生きてきた時代の懐かしいおもちゃたちが待っています。ぜひ、ご来場のうえ、おもちゃを手にした、もしくは目にした時代にタイムスリップしていただき、その時代のことについて、ご友人やご家族と語り合っていたきたいと思っております。

総勢三五〇点のおもちゃがお待ちしております。多くのイベントも開催いたしますので、夏休みはぜひ県立博物館へ足をお運びください。

◇ 会 期 平成二十一年七月十一日（土）～ 九月七日（月）

### ◇ 観覧料

一 般 五〇〇（四〇〇）円  
 大・高生 二五〇（二〇〇）円  
 中・小生 一三〇（一〇〇）円  
 （ ）内は二〇名以上の団体料金、  
 県内宿泊者割引料金  
 小・中・高等・特別支援学校生は土曜日無料  
 県内六五歳以上の方（健康保険証等持参）は無料  
 障害者手帳をご持参の場合、ご本人と介護の方一名が無料



1970年代のパンダブームの際、大人気を博したパンダのおもちゃたち



## 「地域産業の担い手育成プロジェクト」研究指定校の成果

— 県立葦崎工業高校 —

葦崎工業高校は平成一九年六月から、文部科学省・経済産業省の指定を受け「地域産業の担い手育成プロジェクト」、通称「クラフトマン21」に取り組んでいます。

この取組みは、ものづくりに係わる高校と地元企業及び行政が連携して、若い工業人を育成するための教育プログラムの開発や、互いの連携の在り方などを検討し、地域活性化の標準モデルを構築するという位置づけを持っており、現在、全国29の地域で実施されています。

本校は平成十五年度から、①二学期制②ミックスホームルーム制③科目の自由選択制を導入し、学科の枠を超えて意欲的に学べる環境を整えつつ、次のような職業意識を形成する実践活動をしています。一学年では、「総合的な学習の時間」で、職業講話や企業・上級学校見学会、系列説明会や授業見学を実施し、将来を見通した系列選択をサポートします。二学年では、葦崎公共職業安定所及び地元企業二十数社の協力を得て全員がインターンシップを実施し、勤労観・職業観の育成に努めています。三学年では、事前インターン

シップ、就職希望者企業見学、公共職業安定所見学会、キャンパスジョブカフェ、学科による個別の進路指導や就職試験対策指導、企業の人事担当者による実践的な模擬面接指導など具体的な取組みを実施しています。こうした取組みが評価され、昨年は「キャリア教育推進実践校」として文部科学大臣賞を受賞しました。

さて本校の「クラフトマン21」は、学科の専門性をより高めた実践的な技能の習得と進路の実現を目指しています。

その達成のため、一学年では技術者の講義と当該企業の見学をあわせて実施し、ものづくりへの興味・関心を高め、二学年では旋盤検定や企業実習を通して、学校教育では学び得ない実践的な技能・技術を習得し、工業人としての自覚と自信を深め、三学年では様々な技能検定や企業研修を通して、コミュニケーション能力やものづくりの感性を磨き、進路実現に向けた確かな技能・技術を身に付け、工業人としての資質の向上を図っています。

本事業も二年目が終了し、資格取得の旋盤

検定三級では、本県で初めて二年生が合格するなど、三つの検定種目で七名の技能士が誕生しました。

平成二十年度卒業の就職者は八割近くが地元製造業に就職し、この取組みが地域産業を支え、生徒達の進路実現にも大きく貢献しています。それも地元の企業の協力や、本校卒業生の地域での地道な努力の賜と感謝しています。

今後も、ものづくりを通して自己を成長させ、地域社会に貢献できる工業人の育成に努めて参ります。



県立産業技術短期大学校で、高度熟練技術者から旋盤検定の指導を受ける2年生

# おもちゃと模型のワンダーランド展について

— 県立博物館 —

はじめに

県教育委員会では、平成二十年度から三か年計画で本事業に取り組んでいます。昨年度は、県内公立中学校の二年生全員に読解力育成のための冊子『ザ・読解力』を作成・配布し、すでに今年度から各教室で使っていました。

## ◇「読解力」とは？

「読解力」とは、従来、文章に書かれている内容を、正しく読み解く力と言われていました。もちろんその意味の「読解力」は今でも重要な力ですが、最近では、国際社会で二十一世紀に必要なとされている学力です。英語だと「リーディングリテラシー」といいますが、これを直訳して「読解力」というわけです。この「読解力」は、国際的なテストの名称をとって「PIISA型読解力」とも言われています。

『ザ・読解力』で育成しようとしているのは、この新しい「読解力」であり、生きてはたらく国語の能力、とりわけ論理的思考力を育て、テキストを解釈し、熟考・評価し、自らの考えを表現していく力をさしています。

具体的な目標は次のようなものです。

- ① 様々な文章や資料を理解・評価しながら読む力
- ア 目的に応じて理解し、解釈する力
- イ 評価しながら読む力
- ウ 課題に即応した読む力
- エ 多様なテキストに対応した読む力

② テキストに基づいて自分の感じたことや考えたことを簡潔に書く力

- ア テキストを利用して自分の考えを書く力
- イ 日常実用的な言語活動に生かす書く力
- ウ 自分の感じたことや考えたことを簡潔に書く力

端的に言えば、「目的に応じて、いろいろな資料から必要な情報を読み取って、それらを利用して表現する力」を指します。

## ◇『ザ・読解力』の内容

この冊子は、学校の授業で使われるような工夫がしてあります。市販されているドリルなどとは違い、「課題」に取り組むようになっていきます。

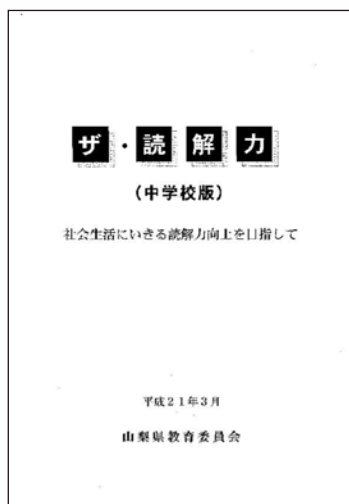
例えば、

- 教科書に載る盲導犬に関する説明文を読み、足りない情報を、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」HPなどから補って説明文を書き直してみる。(国語)
- 題名を隠した江國香織さんの文章を読んで、文章にふさわしい題名を付ける。(国語)
- 自転車の発電機の仕組みを示した図を使っておもちゃのモーターが電気を力に変えている仕組みを説明する。(理科)
- グッドデザイン賞になった商品をいくつか比べて、共通するよさが何か考える。また、身近な生活の中からグッドデザイン賞にふさわ

しいものを見つけ、理由を付けて発表する。(美術)

といったものです。

九教科の全てで教科書を中心に学習した基礎的基本的な知識・技能を活用して解決できる課題としました。また、社会の中で目にする出来事を対象としていますので、子どもたちも楽しんで取り組めると思います。



詳しくは、次の国語力向上推進事業HPを御覧ください。指導案やワークシートもこちらからダウンロードできます。

<http://www.kai.ed.jp/kokugo/kokugo-index.html>

## ◇小学校版について

現在、小学校版の作成をすすめており、こちらは平成二十二年に小学五年生で使用する予定です。ご期待ください！

注 テキスト…文章だけでなく、図表や絵画、写真、数式、音楽など表現されたものを指します。

## ミュージアム甲斐・ネットワーク

～県内博物館等の連携による活動の活性化と利用者サービス向上を目指して～

— 学術文化財課 —

県内の美術館、博物館等が、相互に連携して活性化を図り、活動の充実や利用者へのサービスの向上を目指す「ミュージアム甲斐・ネットワーク」会員施設の紹介をします。

### 山梨県立博物館 (笛吹市)

山梨県立博物館(愛称「かいじあむ」)は、「山梨の自然と人」のテーマのもと、山梨の歴史を紹介する博物館です。常設展示は約2ヶ月に1度展示替えを行うほか、企画展は年間4回開催。広々とした庭では四季折々の変化が感じられ、いつ来ても違った魅力を放っています。

常設展示は、実物資料の展示に加え、音や映像、ジオラマを用いたり、体験展示のコーナーを設けるなど、最新の手法を用いています。なかでも、江戸時代の甲府城下町や農村部の暮らしぶりを表したジオラマは、当時の暮らしぶりがよくわかると評判です。登場する人形や動物たちも個性的で、大人から子どもまで、ジオラマの世界について引き込まれてしまいます。ジオラマは、展示室内のタッチパネル式のモニターや実物資料と合わせてご覧いただくのがおすすめです。より歴史を深く身近に感じていただけます。

夏休み中は、博物館と展示をより楽しんでいただけるイベントも数多く開催いたします。ぜひ足をお運びください。

住 所：笛吹市御坂町成田 1501-1

電話 番号：055-261-2631

連絡 担当者：企画交流課 丸尾

休 館 日：火曜日、祝日の翌日

入 館 料：一般 500 円、高校・大学生 210 円、  
小・中学生 100 円 (企画展は別料金)

教育課程の利用：常設展は無料です。

駐 車 場：有り (乗用車 180 台バス 8 台)・無料



### 先生のための文化財活用支援講座と各種事業の紹介

— 県埋蔵文化財センター —

#### ■先生のための文化財活用支援講座

県埋蔵文化財センターでは、学校の先生方を対象に、総合的学習の時間等でセンター収蔵資料を安全かつ効果的に活用していただくため、考古資料の特性や取り扱いについて研修する「先生のための文化財活用支援講座」を8月11日(火)と18日(火)に開催いたします。

1日目は、土器作りや石器作り等、実践的な講座を、2日目は、土器の梱包の仕方や土器焼きを行ったり、火起こし道具を使って火起こしの体験をしていただきます。

2日間の研修を修了した先生方には、考古資料等の貸し出しをいつでも受けられる修了証を交付しています。

#### ■発掘体験セミナー(一般対象)

夏休み期間中、半日単位で実際に発掘調査をしている遺跡で発掘体験をしていただけます。

#### ■出前支援事業(学校対象)

学校まで職員が出張し、土器作りから土器焼き、勾玉作りや石器作り等、授業に合わせた内容で支援します。

このほかにも、考古学資料等の貸し出し、職場体験学習、講師の派遣も行っています。お気軽にお問い合わせ下さい。

#### ◆お問い合わせ先 県埋蔵文化財センター

電話 055-266-3016 FAX 055-266-3882

URL:<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/>





らくがき

「笑顔を忘れずに」  
佐野 千春

私がいつも心がけていることは、「どんなときにも笑顔を忘れない」ということだ。両親にも、それをいちばん厳しく教えられてきた。また、私が尊敬しているスピリチュアル・カウンセラーの江原啓之さんも、笑顔についてこう言っているからだ。「表情の中で一番いいのはとびきりの笑顔。心では笑いたくなくても、努めて笑顔をつくっているうちに、表情だけでなく、心もたましいも笑顔モードになっていく。」「笑い声は人の心を癒し、笑顔は人に希望を与える。なぜなら、笑顔の奥には思いやりの心があるから。自分のためではなく、相手の気持ちを和らげるため、周囲の人の気持ちを和ませるために笑うのです。」

この春卒業した女の子から、「先生はいつも笑顔で、ずっと春という感じです。これからも明るい先生でいてください。」という手紙をもらった。子どもから「いつも笑顔の先生」と思ってもらえたことは、私にとって何より嬉しいことだった。仕事に追われ、心も体も疲れきってくると、笑顔をつくるのがなかなか難しいこともあるが、そんな時こそ、職場の仲間と冗談を言い合って、笑顔モードにしていくことが大切だと思う。

これからも笑顔を忘れずに、毎日を明るく楽しく過ごしていきたい。

(身延町立身延小学校)



「一期一会」  
小野 美知子

34年前の春、まだ桜の蕾みもかたく肌寒い日だった。塩崎駅で下車し、曲がりくねった坂道を不安と期待に胸膨らませながら歩いた。坂を上りあげた処に、木造2階建ての校舎が建っていた。木造の校舎を見た時、懐かしさがこみ上げ、一瞬中学時代にタイムスリップした。これからどんな生徒達との出会いがあるのか楽しみだった。

新学期初めの学年集会で自己紹介をした時のことだった。「私は中学・高校時代にバスケット部、大学の時は柔道を」と言った瞬間、「女なのに柔道だって！怖え〜」と言う声が聞こえた。その時から怖い先生になってしまった。本当は心優しい先生なのだと思いますが怖い先生を長年通し続けた。20代～40代はがむしゃらに突っ走った。大徳寺大仙院の尾関宗園和尚の説話の中に「今やらなくて、いつやる」という言葉があるが、その言葉をかりて、「今走らなくて、いつ走る」と「中学時代に心も体も鍛えなきゃあ長生きできん」が口癖だった。時々教え子に行き会って、「先生は女だけど怖かったよ。」「よく走らされた！」という話になる。その後「あの時があったから、何でも乗り越えられる。」という言葉が……。この言葉を聞いたときホッとした。今日も「一期一会」の気持ちで子ども達と一緒に学んでいきたい。

(韮崎市立韮崎西中学校)

— 県立文学館 開館20周年記念 夏の特設展 —  
**H.C. アンデルセン「人魚のお姫さま」**  
会期 平成21年7月18日(土)～8月23日(日)



(石倉欣二『人魚姫』より)

夏の特設展では、H.C. アンデルセンの童話「人魚姫」を、石倉欣二(絵本作家)の原画と拡大パネルでわかりやすくお見せするとともに、知っているようで意外に知らないアンデルセンの生涯や、明治・大正期の翻訳・翻案、他のすてきな童話も展示します。さらに、北欧童話の翻訳で有名な本県出身の矢崎源九郎(北欧文学者・言語学者。俳優矢崎滋の父)も紹介します。

ワークショップコーナーではツェムリンスキーの幻の名曲「人魚姫」をBGMに、絵を描いたり、登場人物へ手紙を書いたり、アンデルセンの世界に浸りながら夏のひとときをゆったりお過ごしいただけます。

ぜひご家族でおいでください。

関連イベントほか

★子ども映画会「マッチ売りの少女・裸の王様・みにくいアヒルの子」

7月26日(日) 13:30 場所: 講堂

★第2回 親子ほのぼの朗読会

8月8日(土) 14:00 場所: 素心菴

★鑑賞会「矢崎滋の世界 落語とトーク」

8月22日(土) 13:30 場所: 講堂



## エコ施設や設備を活かした環境教育

### 昭和町立押原小学校

本校は120有余年の歴史がありますが、現在の校舎は、「伝統の中にあるおいがあり、目を輝かせて学べる学校」とした校舎建設の基本構想テーマのもとに平成16年11月に竣工しました。

環境に配慮したエコスクールとしての特徴も備えています。

#### ◇子どもたちに人気のビオトープ

左下の写真は、緑や水環境の一つとしてのビオトープの光景です。ここは四つ葉のクローバーを探す場所であったり、写真のように男の子も女の子も夢中になってザリガニなどを捕ったりする場所でもあり、子どもたちにとって大好きな場所となっています。



〔人気のビオトープ〕



〔ビオトープの整備〕



〔ハイブリッド発電〕

中央下の写真は全校クリーン日に長い休み時間を利用して、子どもたちがビオトープを整備したり、草を取ったりしている様子です。子どもたち一人ひとりが自分にとってのビオトープの大切さを感じているので、一生懸命に整備しています。

#### ◇エコ施設・設備と児童との関わり

本校には太陽光と風力からなるハイブリッド発電、井戸水を利用した冷輻射(れいふくしゃ)装置、雨水の建物や植物への利用、屋上緑化、グリーンカーテン、地下空気温度を利用した室内温度調整等々、様々なエコ設備があります。本校では、これらエコ施設や設備と児童との関わりを大切にしながら環境教育に取り組んでいます。

## 「心のゆたかな人間」づくりをめざして

### 富士河口湖高等学校

南に雄大な富士を仰ぎ、国立公園内に立地する本校は、四方を緑に囲まれた自然豊かな学習環境の中にあります。このような抜群の環境の中で、創立以来の教育方針である「心のゆたかな人間を育てる」ことを実践してきました。

さて「文武一体」を目標とした本校においては、学習と部活動等を分けて考えるのではなく、同じ比重で真摯に取り組んでこそ、調和のとれた人格が形成されるものと考えています。

このため、地域に密着したボランティア活動や全校一斉の「朝読書」をはじめ、6月の「読書会」、10月の「図書館フェア」などの読書活動が活発に行われています。

特に昨年は、読書活動実践優秀校として文部科学大臣表彰を受けており、活動内容も高く評価されています。

入試制度の改革により、本校を取り巻く教育環境も大きく変わってきました。このような中で、本年度は新たな教育課題に立ち向かうため、校内組織も改編し、全校一丸となって将来を見据えた「河高づくり」に取り組んでいます。

地域に立脚した学校づくりを目指してきた本校も、創立33年を迎えます。創造・挑戦・発信の視点から、生徒とともに新しい一歩を踏み出していきたいと考えています。



河高玄関とロータリー



ボランティア活動(ふじざくら支援学校訪問)



## 特別支援教育の充実を目指して

— 山梨県総合教育センター 特別支援教育部 —

学校教育法の一部改正により、平成十九年四月、特別支援教育がスタートし、特別支援学校や特別支援学級のみならず、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の通常学級に在籍する障害のある子供に對しても、適切な指導と必要な支援を図り、質の高い教育を進めていくことが求められています。このため指導担当者には、事例研究法を学び、子供の行動の見方や言葉のとらえ方、考え方、指導・支援の目的や方法などが独り善がりにならないよう、学校内外の関係者に公開し、意見をいただき、よりよい実践に努めることが求められています。

### 特別支援教育部による支援体制

特別支援教育部では、各学校における特別支援教育の充実に向け、調査研究、研修、教育相談、学校支援を核として、学校や教職員のニーズや課題に応じた支援を組織的に推進しています。

### 一 ハンドブックの作成

特別支援教育に関する課題を把握し、指導方法や特別支援教育にかかわる支援体制充実のための研究を推進しています。昨年度は新しい学校づくり推進室と連携し「特別支援学級担任・通級指導教室担当者ハンドブック」を作成しました。担当者のニーズを踏まえ、最新の情報とともに、できるだけ具体的に実践に活かせるものとししました。特別支援学級等担当者の資質及び専門性の向上、さらに、通常学級に在籍している特別な教育

的支援を必要としている児童・生徒に対する適切な指導・支援の参考資料としても活用して頂けるものとなりました。

### 二 教育センターにおける研修会

研修講座では、特別支援教育に関する基礎的、普遍的内容に加えて、今日的な課題やスキルアップに対応した内容を充実させるとともに、演習やグループ協議等、研修形態の工夫を行い実践力の向上を図っています。

管理職等の基本研修、発達障害の理解や指導、コーディネーター養成、心理検査法、障害児の心のケア、医療的ケア等十四研修会を企画・実施しています。

また、小・中学校及び高等学校では「校内委員会」の設置、特別支援教育コーディネーターの指名など校内支援体制が整備され、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成と活用、医療・福祉等関係機関との連携など障害のある児童・生徒に対する様々な取り組みがなされています。本センターでは、「コーディネーター養成」と「ステップアップ」研修会を企画し、コーディネーターの資質の向上を図っています。

### 三 教育相談

① 発達の遅れやその心配のある児童・生徒の就学に関する相談（来所、電話、訪問）を実施しています。相談に当たるのは、小・中学校や特

別支援学校で子供たちと接している経験豊かな教師です。学校での学習や子供たちの生活の様子などの情報を提供します。就学後のよりよい環境を整えていくために、お気軽に御利用ください。

② 市町村教育委員会と連携し、県内九地区十六会場で障害児巡回教育相談（八月から九月）を行い、就学事務の説明や研修などを通してよりよい就学等の支援をしています。

③ 発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業（文部科学省委嘱事業）で、LD等巡回相談チームによる巡回相談の事務局を担当し、学校訪問等で支援しています。

### 四 各分野の専門機関との連携

発達障害者支援センター、子どもメンタルクリニック、児童相談所等の相談機関と連携し支援しています。



(研修会風景)

## 新委員に小林久氏が就任

県教育委員会では、金丸康信委員の任期満了に伴い、後任の教育委員として小林久氏が知事から任命されました。新委員の任期は平成二十一年三月二十四日から平成二十五年三月二十三日までです。



委員長  
小林 久

この度、教育委員という重責を命ぜられ戸惑いとともに身の引き締まる思いです。私は民間会社を経営しています。景気は想像もつかないほど悪化し社会からは笑顔さえも消えつつあり、子供たちの置かれている家庭環境も今までとはまったく違う状況です。不登校問題・外国人児童生徒の問題など経済的な要因が一端である課題が今後も増加していくのではないかと危惧しています。

親も先生も教育委員会も願いはひとつ  
「明日を担う子供たちが明るく健康に育って欲しい。」それだけです。

私の立ち位置は常に子供たちの側でいたいと思います。働くお母さんたちを多数雇用している立場からも、家庭と学校の両輪がその中心にいる子供たちのためにうまく機能するように努力していきます。任期4年の間、自分が教育委員になって良かったと言われる様に精進を続けていく覚悟です。  
なにぶん教育分野の経験は乏しくご迷惑をおかけするかも知れませんが今後ともご指導の程よろしくお願ひします。

### ● ひとこと ●

## レファレンスの道具箱 \*落語について調べる\*

山梨県立図書館

### 📖 落語とはどんなものが知りたい

『落語ハンドブック』(山本進/編 三省堂 2001)

落語の特質や歴史から落語のバックグラウンド、名作、噺家、用語など落語に関する一通りの事柄が項目別に載っています。



### 📖 作品を調べるには…

『古典落語鑑賞事典』(永田義直/編 金園社 1969)

「長屋のおどけ者」や「大屋さん和横町の隠居」などの噺の項目に、題名、あらすじ、参考小咄、鑑賞と載っています。

『落語事典』(今村信雄/著 青蛙房 1957)

古今の名著500種について、あらすじと解説を掲載。巻頭には、落語略史と落語家各派の系図等も載っています。

### 📖 落語家について調べるには…

『古今東西落語家事典』(諸芸懇話会大阪芸能懇話会/編 平凡社 1989)

近世から現代までの落語家を収録。327名の物故者と昭和64年現在の475名が調べることができます。

※ 今回紹介した資料以外にも関連資料がございます。ぜひご利用ください。



## 県指定史跡

### 寺本廃寺跡 (笛吹市春日居町寺本)

(平成二十一年五月二十一日指定)

寺本廃寺跡は、地域で「寺本古代寺院跡」として親しまれています。現在、指定地内には民家や畑もありますが、塔の心礎である石や山王神社あたりで大きな礎石をみることができ、山梨県で最古の古代の寺院跡であり、創建は六七〇年代の白鳳期と考えられています。建立の目的は豪族の私寺か、甲斐国府の寺院とするのが有力です。

塔の心礎は長径二・ハメートルの巨石で、その規模から三重塔と推定されています。発掘調査で、築地塀に囲まれた一三〇メートル四方



の寺域に、三重塔、金堂、僧坊と、これらを囲む、中門、南門、北門、西門、回廊の跡が確認され、これら建物跡の配置からは法起寺式伽藍配置と考えられています。瓦は創建時である白鳳期の瓦のほかに八世紀の天平期の瓦がみられます。また、墨書土器や灯明皿、仏像の破片、丸玉、鉄くぎ、紡錘車、古銭などが出土しました。寺本廃寺跡は、古代甲斐國の宗教史、政治史、社会経済史を解き明かしていく上で欠くことのできない重要な価値を持つ史跡です。

## 主な行事予定

### 県立図書館

資料紹介展示  
「平成二十年度新収蔵山梨県関係出版物展」  
6/5〜8/27

### 県立美術館

特別展  
ベルギー王立美術館コレクション「ベルギー近代絵画の歩み」ハルビゾン派 印象派 フォーヴイスム  
4/18〜7/5  
特別展  
「ハンス・フィッシャーの世界」『このびつち』の作者がわが子に贈った絵本たち  
7/19〜8/23

### 県立博物館

企画展  
「おもちゃと模型のワンダーランド」  
7/00〜9/7

### 県立考古学博物館

企画展  
「縄文土器文様絵巻」  
「展開写真でみる縄文絵画の世界」  
7/18〜9/6

### 県立文学館

企画展  
「太宰治展 生誕一〇〇年」5/2〜6/28  
特設展  
「H.C. アンデルセン人魚のお姫さま」  
7/18〜8/23

### 特設展関連映画会

①子ども映画会「マッチ売りの少女」 入場無料  
②子ども映画会「裸の王様」  
③子ども映画会「みにくいアヒルの子」  
7/7 7/7 262626

## 表紙を飾る



### 作品タイトル 「家族の団欒」

私は、家族みんなで食事をしているところを絵に描きました。私の家では、夕食の時間になると、学校での話などいろいろな話をして楽しく食事をしています。私はそういう時間が一番幸せだなあと感じました。これからも家族団欒していけたら良いなという思いを込めて描きました。

指導者 高橋光明 教諭

## 「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

- ◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。  
アドレス: kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp FAX: 055 - 223 - 1744
- ◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。  
URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku/46150769857.html>